平成２８年（２０１６年）３月１４日
建　設　委　員　会　資　料
都市政策推進室中野駅周辺地区整備担当

中野駅周辺地区総合交通戦略策定の考え方について

１．策定の目的

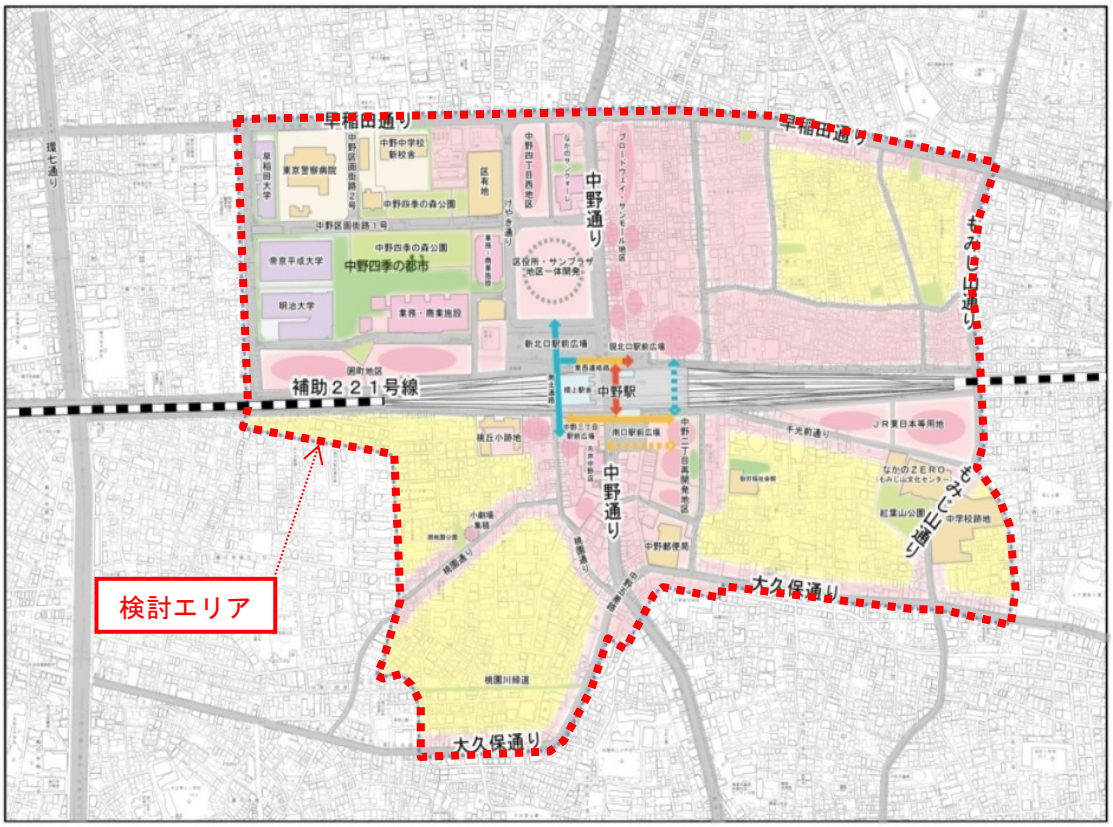
総合交通戦略は、進展する少子・超高齢化社会への対応、交通渋滞の緩和、交通に起因する環境負荷の低減等のため、徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携し適切な役割分担のもと、都市・地域が抱える多様な課題に対応すべく、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るものである。

社会資本総合整備計画「安全で快適に住み続けられる活力あるまちづくり」において、社会資本整備総合交付金を中野駅西側橋上駅舎整備に活用するにあたっては、中野駅周辺地区において総合交通戦略を策定することが条件となっている。

かかる背景を踏まえ、今後各地区において展開する事業とあわせて、まちづくりと連携した総合的かつ戦略的な交通施策（都市施設整備、中野駅の改良、駐車場関連施策など）を実現することを目的とし、中野駅周辺地区総合交通戦略を策定する。

２．検討対象エリア

対象エリアは「中野区都市計画マスタープラン」における「総合的整備エリア」、及び「中野駅周辺まちづくりグランドデザイン Ver.3」の策定範囲と一致するエリアとする。



３．戦略の基本方針

① まちの魅力を高めるソフト施策

・ハード・ソフトが連携した一体的な交通戦略

② 交通結節点の機能強化

・駅舎、駅前広場整備等による乗り換えの円滑化

③ 多様な交通手段を支えるネットワーク形成

・中野通りを軸とした公共交通の利便性の向上

・歩行者、自転車、自動車のネットワーク等の形成

４．今後の予定

学識経験者へのヒヤリング、関係機関との調整等を行い、平成 28 年度内に総合交通戦略の策定を行う。